経　済　新　聞
（第三種郵便物認可）

—12
ン8階
7576
6571
—75

日映マンションⅢ602
0572（23）7812
●西濃支局
大垣市本町2—6
スタッドⅠ602号
0584（75）1289

●三重支社
四日市市浜田町3—12
四日市三交ビル3階
059（354）6116
FAX 059（329）5333

●津支局
津市羽所町536
オーシャンビル
059（228）2545

城山産業

大型製品を内製化

新精密金型工場が稼働

各種電気機器、プレス金型メーカーの城山産業（本社大垣市釜笛、竹中幸三社長、電話0584・89・1010）は、大垣市外野の第2工場内に新金型工場を増設、年明けから本格稼働した。大型化・高精度化する精密金型に対応し、最新鋭設備による内製化と本社・金型部門の集約化で納期短縮やコスト削減を図る。また2年後の創業70周年に向け、老朽化した本社工場の改修と合わせ生産体制の再構築を進める。

（大垣・上野昌宏）

同社はモーター・トランスなどの電磁鉄芯（コア）や精密プレス金型などを生産している。取引先の海外生産移転が進んでいることから、このほど大型・精密金型ニーズに対応した新金型工場を建設。これまで外注していた大型製品の内製化を含め、自社加工から組み付けまでの一貫体制を整え、内需の維持拡大を図ることにした。

大型化、高精度化に対応した新型加工機

新工場は2年前から計画していたが、今後の業容拡大と新規分野を見据えた生産体制を検討する中で当初計画を修正。延べ床面積を1・5倍の2000平方㍍に拡張した。

本社工場の金型部門を集約して効率化を図るとともにプレス機の振動を避け、より高精度な加工に対応。納期短縮と品質向上に加え、今後の事業拡大に備えた加工スペースも確保した。

この金型部門の移設で空いた本社工場には大型プレス機を導入するなど、これら設備投資も含めた総事業費は約11億円（うち金型工場関連は6億5000万円）を見込んでいる。

さらに、老朽化した本社プレス工場棟の改修も計画しており、創業70周年に向けて本社工場も再整備する方針。「既存事業の強化や業容拡大だけでなく、今後は環境改善のための投資も進め、国内専業メーカーとしての生き残りをかけた生産体制を完成させたい」（竹中社長）としている。

多治見会議所

「協業」で持続的成長

賀詞交歓会に350人

【多治見】多治見商工会議所は6日、多治見市新町の市産業文化センターで「新春賀詞交歓会」を開いた。牛込進会頭は今年のキーワード「協業（コラボレーション）」を発表し、地域の持続的成長に向け一層の内外連携を呼びかけた。

また牛込会頭は、冒頭あいさつで4月の消費税引き上げと駆け込み需要の反動に懸念を示し、「大きなショックを何とか和らげ、発展につなげていきたい」と地域経済への影響を注視していく姿勢を強調した。

続いて置上スクリーンを活用して昨年の会議所活動実績を紹介。昨年9月に「リニア中央新幹線」を生かした地域活性化プランを沿線会議所・商工会とと

今年のキーワードを発表する牛込会頭

柔軟性持ち状況即応

セイノーHD 年頭

【大垣】ルディン大垣市田「年頭神田口義嘉義隆社長プ会社など約80年を迎え

玉串奉てんを行う田口会長

もに発表したことに触れ、「できあがった骨子を元にアクションプランを作っていく。リニアが来ただけでは意味が無く、首都機能の一部、国会図書館の一部、県庁機能の一部移転を働き地域機能を見せた。

会場や行政、者ら約3し、新年った。

中津川

女性会発足へ

【中津川】中津川商工会議所は6日、中津川市内の同所で「新年懇談会」を開き、会員や地元関係者ら160人で新年のスタートを祝った。

丸山輝城会頭はこの中で、今年の年央までに「女性会」を発足させる計画を明らかにし、「中津川の復活こぎ

ひ、女性いただきした。

また、幹線計画域活性化唱中の「る丘公園〝道の駅の検討や建促進にえを表明